

磐城時報

日七十月一年九和昭
編輯兼發行人 岡田 弘成
印刷 印刷所 加納 洋行
福島縣石城郡平町磐城時報社
電話 二二二二
廣告料 行字 一ヶ月 金五圓
日刊 (日曜、祭日) 休刊

建議案遂に撤回

色川問題に解決の曙光 今日平町の續行町會

色川製材所問題に對する平町會で解決の曙光を見だすに至つたのは十七日午後一時開會鈴木委員午後二時三十分閉會直ちに協長から調査委員會に於いて決定議案に移つた。

古川橋架替

豫定通り進捗

飯野村大字北白土、大字南白土間を通ずる市五米一延長二十米の古川橋は工費八千九百圓に撤回を勧告、此れに對し馬目武氏町政の圓滿を期す爲めに御勸告通り撤回すると述べ満場の拍手裡にさしも紛糾を續けた色川問題も將來調査委員會によつて完成の見込である。

任意出頭の形式で

井上氏召喚さる

色川、佐藤兩氏と共に

平町會を紛糾に陥れた色川製材は荒井豫審判事の拘引状を執行所問題に端を發し突如昨十六日され平刑務所に收容された、事平検事局は緑川喜三郎、色川勝三郎、佐藤三平氏等を召喚秘詳報は許されぬが色川、佐藤裡に何事かを取調る處あり、兩氏は現色川製材所敷地を購入午後二時に至り平町會議長會するに際して磐城銀行破産監査委員井上茂作氏は任意出頭の形委員の地位にある井上氏を介し式を以つて平検事局に出頭三編て有利なる購入契約を結びその檢事係りで取調を進められ深更謝禮として金品を贈り此れを受まで續いたが、今十七日午前一理した井上氏は破産監査委員と時に至り井上、佐藤、色川三氏して破産法違反に問はれたもの

平窪火防督勵

火災シーズンに備えて郡下各町

村共消防組、火防團に依つて夜警に努めてゐるが平窪村消防組青年團では更に伍長以上の幹部總出動で全村に亘り火防督勵ら通話を開始した。

平署の司法事件

断然縣内第一位

郡山署ギヤフンと参る

送致檢數九百一十一件、縣下刑事事件以下全部が格段の相違で平史上に特筆すべき快記録樹立に署が断然縣内第一を誇れる事が成功した平署では昨年中に於て證明されたので雀躍した郡山署の犯罪統計の作製中であつたが長早速郡山署に「甚だすまぬが突如十五日に至り郡山警察署で縣内第一は當方で御座る」と電は送致檢數では平に負けたが犯話をかけて鼻高々の態………罪發生檢數檢舉人員では断然因みに兩署發表の統計を對比す縣内第一だと發表したので負すと

平署	郡山署
犯罪發生數	二四二
送致檢數	九二
檢舉人員	二五三
	一〇〇三

依然窃盜が最高

犯罪發生數より多い檢舉數

平署の事件統計

(別項)司法事件では断然縣内第一の犯罪は二千四百四十一件で、そ一位を占めた平署昨年中の犯罪の統計は十七日發表されたが此れによると昨年中管下に發生した

巡查採用試験

今日平署で施行

本縣巡查採用試験は今十七日午前八時から平警察署會議室に於いて施行したが受験者百余名中には大學中問學校卒業の肩書をもつ者も数人あり試験官は片寄警部である。

狂青年の鐵道自殺

湯本町字青葉下入山炭礦探炭夫安田吉松弟利七(一九)は昨年末から發作的に精神異常を呈し家人が警戒中だつたが昨十六日午前二時頃家人の熟睡中を見濟して家出同町實海地内常磐線鐵道線路に於いて折柄進んで来た上り急行列車目掛けて飛び込み胸體真二ツになつて無慘な轢死を遂げた。

豫算編成の指導官 吉富地方課長と決定

(既報)空前の赤字財政に悩み明の指導を爲すが、派遣される指年度の豫算編成に苦慮する郡下導官は豫ねて人選中であつたが各町村に對し縣當局に於いては吉富地方課長に決定した旨昨二十日平町に郡下町村長並に豫六日發表された。

時代の要求 正月廿三日迄 夜間十時迄

和洋家具百貨大陳列大安賣會

十ヶ月掛 其他蓄音器 毛織物製品豊富

一日も休みなく 滿三年間盗み續く 平發電所から鐵材専門に 驚くべし千二百回

平署では去十五日夜鎌田町居住みなく窃盜を續ける事千二百數に引致安藤部長係りで嚴重取調犯罪を自白した。

木銀之助(三三)を引致取調した結日同會社の倉庫にあつた鐵材機を果驚くべし滿三年間一日も休めず約五貫を窃取此れを藤田

伊東一家と自稱 福榮亭を脅迫

暴力團二名平署に檢舉

昨十六日午後三時頃平町新田町名を逮捕本署に引上げた上嚴重料理店福榮亭こと佐藤サダ方にな取調を開始した。此奴等兩名一見労働者風態の二名の男が現は當時平町鎮田町三九居住若松はれ俺達は平の伊東一家の暴力市榮町四丁目三四八生れ玩具具商團だが酒を呑ませた上金を出せ武藤貞藏(三二)當時住所不定無と女將を脅迫中氣の利いた女中職下小川村大字栗畑一四七鈴木が裏口から抜け出し隣家の電話清光(三四)で前後数回に亘り脅を以つて平署に急報したので時迫無銭飲食を常習としてゐた旨を移さず警官隊が現場に馳せ付自白した。

新年撞球大會

一、期日 一月二十一日午前八時より

一、會場 平撞球場

一、會費 一圓(晝夕食付)

一、方法 三掛三人突連續四勝者を優勝候補とす

一、賞品 一等二十圓、二等十圓以下十等迄

一、殊勳者賞 一等より五等迄

一、猛者賞 一等より五等迄

一、大旦那賞 一等五圓、以下五等迄

多數來會を希望す。

主催 磐城時報社

後援 平撞球場

本郡からの政府買上米 第二回は七百二十俵

石城郡に於て米穀統制法による米の中五等米八百俵を送つた後政府買上米に買渡された俵米は平農會の手を経て郡内錦村から過般平町農業倉庫内に開催せる申込んでゐた五等米七百二十俵同町外九ヶ村聯合の品評會出陳を決定し東郡沙止驛政府倉庫に

納める事になつたが、十七、八日頃移す事になつた。

大嶺商店

營業所開設

元磐越銀行跡

二回に亘る威力貨物で驚異的威力を示した「二億萬圓消火器」の福島縣一手販賣權を有する平町大嶺商店では愈々全縣下に亘り販賣を開始する事になり南町元磐越銀行跡に營業所を開設する事になつた。

和洋菓子卸小賣

山喜商店

披露 二丁目裏通 佐藤 薫

萬洗張、湯のし、シミスキ

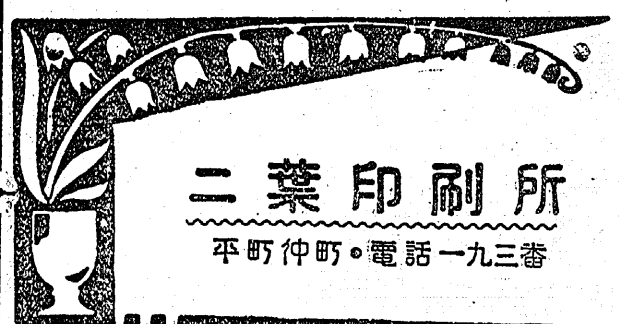
篠原洗張店

平町田町大通

草履、雨傘

新妻はさものの店

平町田町 電五七四番



二葉印刷所

平町仲町。電話一九三番

石炭

氷室

水野石炭商店

平郵便局通り
電話二九九番

貸切車の御用命の際は

是非電話六四〇番ニ子タク

是非電話六四〇番ニ子タク
シールへた願ひします

十全の……豆炭

▲十全の豆炭は理想的家庭燃料で代價は木炭の三分の一
▲火持のよい事木炭の五倍です
▲二十個の豆炭をコンロに入れ消し炭とさせて火を起し二
▲升の飯を煮き上げて煮物、焼物、吸物をこしらへお茶を
▲沸かし
▲あとの火を三個の火鉢にとりわけて一夜を暖かく家庭の
▲團樂に送り……
▲残り火をお炬燵に分配して明日のお晝過ぎまで夜具をあた
▲ためます。

菅野屋商店

平町四丁目 電話一五七番

高久病院

平町田町(電話五二三番)

内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

醫學士 高久 忠
新瀉醫學士 赤羽 清
藥劑士 佐竹 雄

相傳靈藥 消食散

一名かんの藥

小兒かげ虫で困る人、榮養不良で困る人、小兒の夜泣で困る人、消化不良で困る人、鼻の下赤くしてむづける小兒、飲過食過に依り胃及腸を損じた人、よだれ流してむづける小兒、急性及慢性腸加答兒の人、悪性下痢で困る人、殊に宿醉にて苦む人は、小兒分服量の三倍服藥すれば不思議に治る其他胃腸が弱くてお困りの御方は明日と云はず、今直ぐ此靈藥の効果を試されよ。

代理店 丸龜商店
平町大町 電話一三三番

産科 婦人科

午前宅診
午後往診

平町字仲田町
井坂醫院
電話五五九番

吉田眼科病院

平町紺屋町
電話六八番

ゼブラ自転車 宮田自轉車 代理店

エスマ自轉車店

電話六六四番